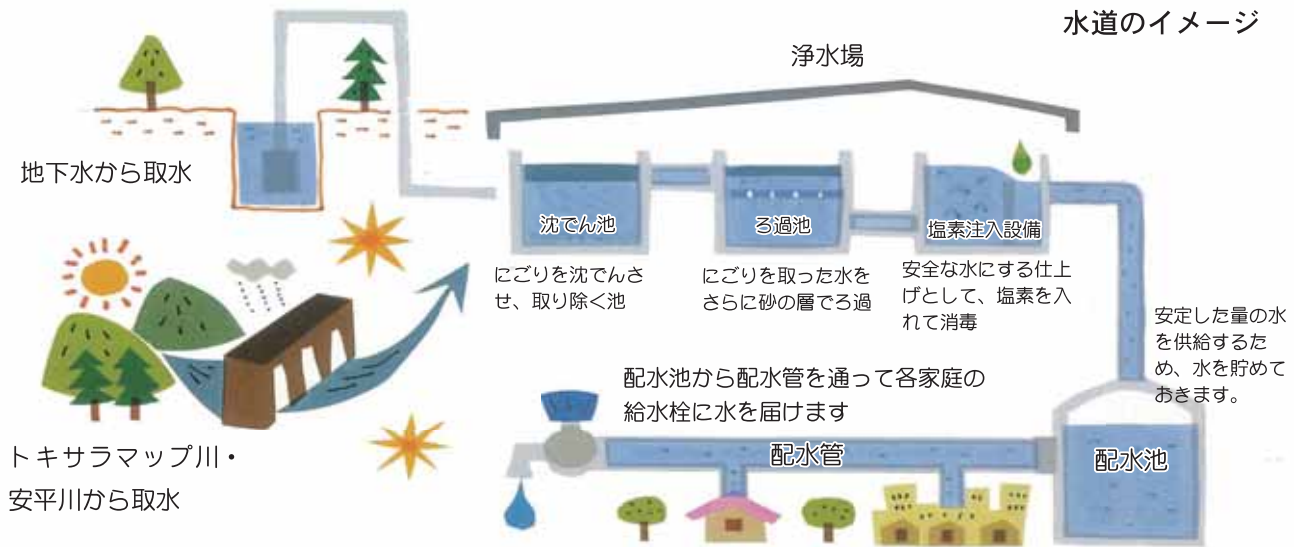


私たちの生活に欠かせない水はどこからくるんだろう？

安平町の水道水は、町内を流れるトキサラマップ川や安平川、地下水を水源とし、各地区にある浄水場で不純物や細菌などが取り除かれ、おいしく安全な水となって各家庭に配水されています。

皆さんにおいしく安全な水を届けるため、町が進める水道整備について紹介します。



地下水や川から取水したばかりの水は、浄水場できれいになるまで浄水処理をしてるんだよ。

みんなのお家に行くまでの道のりは、と～っても長いんだ。



早来地区の配水管は全長約 123 kmで、早来から登別市までの距離に相当します。

富岡浄水場の給水区域：安平、東早来、早来緑丘・北進・大町・富岡・新栄・源武、遠浅

北進浄水場の給水区域：上記に加えて早来栄町・大町・北町

追分地区の配水管は全長約 84 kmで、追分から札幌市までの距離に相当します。

明春辺浄水場の給水区域：追分弥生・春日

追分浄水場の給水区域：追分本町・若草・中央・白樺・青葉・花園・柏が丘・緑が丘・豊栄・弥生

※各浄水場の給水区域は、一部区域を含みます。

早来地区の水道整備

富岡浄水場は、井戸の揚水量が減少しているのに加え、水質的にも硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素量が水質基準値（1リットル中10mg）に対し7mg程度となつているため、北進浄水場の水道水と混合して3割程度にして給水しています。硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素の増加は、化学肥料等が主な原因となつていますが、富岡浄水場の建設位置では、その解消は困難と考えています。

そこで、トキサラマップ川を水源とする北進浄水場の水量調査を北海道に依頼して、取水量の上乗せが可能か調査をしてもらいました。

結果、現在の一日の取水量1,000^mに400^mの上乗せが可能との調査報告を受け、平成28年度に国の補助事業（補助率4分の1）を活用して事業費約4千8百万円で浄水処理施設を改修する計画をしています。

また、遠浅、富岡の一部農家地区に現在も給水している「早来地区雑用水道」は、平成29年度までに全戸を簡易水道に切替える予定で、それまでの間には、農業に配慮した安平町の統一水道料金体系を確立します。

水質検査はね、水道法で決められている検査で、一般細菌や大腸菌群など51種類もの検査項目があるんだ。国の指定を受けた専門機関が実施しているんだよ。

